

平成10年2月3日

朝鮮民主主義人民共和国の水害等被害に人道的支援 ～豊島区約3万食の乾パンを送る～

3日、豊島区は在日本朝鮮人総联合会東京都豊島支部に非常食である乾パン（平成9年度2,432食、平成10年度26,880食の計29,312食）の目録を贈呈した。

朝鮮民主主義人民共和国では、ここ数年続いている水害に加え更に、昨年61年ぶりの干ばつ被害や、朝鮮北西部を襲った台風13号による水害災害等により、食糧不足はますます深刻なものとなっていることが伝えられている。そのため在日本朝鮮人総联合会東京都豊島支部より昨年11月18日、豊島区と豊島区議会に支援の要請があった。これを受けて豊島区は人道的立場から、被災者に対し乾パンによる救援物資を送ることを決め、この程、目録を贈呈した。物資は在日本朝鮮人総联合会東京都豊島支部を通して朝鮮民主主義人民共和国へ送られる。

金良光氏（在日本朝鮮人総联合会東京都豊島支部委員長）は「このたびの豊島区のご厚意には大変に感謝し、区民の皆さまの心を責任を持って祖国である朝鮮民主主義人民共和国に伝えます。今後とも朝日友好のため地域住民の一人として豊島区の発展のために寄与したいと思います。」と話していた。

また、加藤一敏区長は「朝鮮民主主義人民共和国の水害による惨状には深い哀しみを覚えます。1日も早い復興をお祈りしています。」と話し、会談は終始和やかな雰囲気で行われていた。

詳細：防災課長